

2024 年 1 月 15 日
公益財団法人 日本卓球協会

2024 年アジア卓球選手権アルマトイ大会（個人戦）兼 2025 年世界卓球選手権
ドーハ大会（個人戦）アジア大陸予選会男女日本代表選手選考基準および 2025 年
世界卓球選手権ドーハ大会（個人戦）男女日本代表選手選考基準

1. 2024 年アジア卓球選手権アルマトイ大会（個人戦）兼 2025 年世界卓球選手権ドーハ大会（個人戦）
アジア大陸予選会（以下、アジア選手権）男女日本代表選手選考基準

期　　日：2024 年 10 月 6 日～13 日

開催都市：アルマトイ（カザフスタン）

(1) 男女シングルス代表選手選考方法（最大出場枠数：男女各 5 名）

- ① パリ 2024 オリンピック男女日本代表選手
- ② アジア選手権最終エントリー日 14 日前が含まれる週のシングルス世界ランキング日本人最上位選手
- ③ アジア選手権日本代表選考会（以下、選考会）優勝者
- ④ 上記の①～③より選出された選手が重複し、最大出場枠数に満たない場合には以下の順番で選手を選出する。
 - イ) 2024 年全日本卓球選手権大会一般の部シングルス優勝者
 - ロ) 上記（1）の②を除いた、アジア選手権最終エントリー日 14 日前が含まれる週のシングルス世界ランキング日本人選手上位順

※アジア選手権最終エントリー日は、同大会要項発表後に判明するが 8 月中旬から 9 月上旬を想定。

※アジア選手権大会と世界選手権大会アジア大陸予選会が別開催の場合でも日本代表選手は同じ者とする。

(2) 男女ダブルス・混合ダブルス代表ペア選考方法

（最大出場枠数：男女ダブルス各 2 ペア・混合ダブルス 2 ペア）

各ダブルスの代表ペアは、上記 1. (1) で選考された選手に基づいて、優勝もしくはメダル獲得の可能性が高いペアを強化本部にて決定する。ただし、ダブルスの代表にはダブルス専用要員として、上記 1. (1) で選考された以外の選手を、ダブルス 3 種目の合計で最大 4 名まで加えることがある。

(3) 選考会概要

期　　日：2024 年 6 月 20 日～21 日（変更可能性あり）

場　　所：赤羽体育館（東京都北区）

試合方法：男女各 20 名の参加者を 4 グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ 1 位の選手で決勝トーナメントを行う。全試合、5 ゲームマッチ。

出場資格：選考会出場者は以下の順番で 20 名になるまで選出する。

- ① 2024 年全日本卓球選手権大会一般の部シングルスベスト 8 以内の選手
- ② 2024 年世界卓球選手権釜山大会シングルス日本代表選手（オリンピック日本代表候補選手を除く）

- ③ (2023年) 第57回全日本社会人卓球選手権大会シングルス優勝者
- ④ (2023年) 第89回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) シングルス優勝者
- ⑤ 2024年全日本卓球選手権大会ジュニアの部ベスト4以内の選手
- ⑥ (2023年) 第92回全国高等学校卓球選手権大会シングルス優勝者
- ⑦ 2024年アジアユース・世界ユースU18日本代表国内選考会優勝者
- ⑧ 2024年アジアユース・世界ユースU15日本代表国内選考会優勝者
- ⑨ (2023年) 第54回全国中学校卓球大会シングルス優勝者
- ⑩ 2024年4月発表のNT、NT候補選手の名簿順
- ⑪ 2024年4月発表のJNT-U18選手の名簿順
- ⑫ 2024年4月発表のJNT-U15選手の名簿順
- ⑬ 強化本部推薦

2. 2025年世界卓球選手権ドーハ大会(個人戦)(以下、ドーハ大会)男女日本代表選手選考基準
期日: 2025年5月17日~25日
開催都市: ドーハ(カタール)

(1) 男女シングルス代表選考方法(最大出場枠数:男女各5名)

上記1.(1)の出場選手の中でアジア選手権にてドーハ大会の出場枠を獲得した選手

(2) 男女ダブルス・混合ダブルス代表ペアの選考方法

(最大出場枠数:男女ダブルス各2ペア・混合ダブルス2ペア)

上記1.(2)の出場ペアの中でアジア選手権にてドーハ大会の出場枠を獲得したペア

(3) 世界ランキング推薦枠による選考

上記1.(1)および(2)で枠を獲得していない選手/ペアがおり、世界ランキング推薦枠に空きがある場合は以下の通り選手を選出する。

① シングルスは以下の順番で選出する

イ) 2025年全日本卓球選手権大会一般の部シングルス優勝者

ロ) 最終エントリー日14日前が含まれる週のシングルス世界ランキング日本人選手上位順

② ダブルスのペアは優勝もしくはメダル獲得の可能性が高いペアを強化本部にて選出する。

補足

(1) ATTUおよびITTFが大会要項の詳細を追加で発表し、本選考基準との齟齬が発生した場合は再度理事会で審議する。

(2) 代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手およびペアについては、各大会の大会要項に従い強化本部が決定する。

*なお、他の国と地域の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、ITTFの定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、ドーハ大会代表選手選考の前提条件となる。

以上